

演習Ⅱ

担当者 明石 芳彦

開講時期 通年 単 位 8

●講義の到達目標

自分が定めた研究テーマに従い、先行研究での論点を整理し、修士論文作成に向けて、自分の見解を提示し、論証していく。それと同時に、自分が書いた論文が第三者に理解しやすい表現となっているか、論文の展開や文章が論理的表現となっているかなど、修士論文の完成度を高めるための研究能力を向上していくこと。

●講義の概要

各自が定めた研究テーマに関わる研究の進め方をめぐり、具体的論点を1つ1つ検討していく。その過程において、必要となる事項や課題解決方法について逐次、助言し、概説する。

●講義計画

前期は、各自が定めた研究テーマを具体的に検討していくための討論や助言の時間を十分にもつ。とくに、研究テーマに関する論点を明確化できるように指導する。また、研究テーマが実態分析を必要とする場合には、実態分析の仕方について助言するとともに、各自が入手した文献や資料・データを整理していく方法を指導する。

後期は、研究進捗状況をみて、研究テーマに関わる論点の確認、研究課題（リサーチ・クエスチョン）の明確化、何を明らかにできれば研究目的に近づくかを一緒に考える。その後、研究の方向性を明確にしつつ、研究内容を論文としてまとまるように指導する。

●成績評価基準と方法

- ・平常点として報告や討論について100%として成績評価する。
- ・研究関心や問題意識を適切に提示し、研究上の論点を表現することができている。
- ・研究に必要な調査方法や分析手法をある程度、理解し、駆使できている。
- ・研究テーマの論点を的確に把握し、検討すべき事項を理論的・概念的・実証的に分析し、研究上の独自性や新規性を伴い、研究内容を論理的に展開する能力を向上させていること。

●テキスト又は参考文献

使用しない。必要に応じて、参考文献を指示し、資料を配布する。

●受講上の留意点

- 修士論文の作成をライフワークと勘違いしないこと。
- 研究を行うのは学生自身であることを理解し、自ら積極的に調べ、分析し、考え、まとめていくこと。
- 何を明らかにしたいかを常に自問自答すること。